

案内図 1/45,000



調査地点

東戸祭

大管三

昭和

大管四

大管五

本

栄町

千波町

伝馬町

中河原町

三番町

旭

南大通り

南大通り

花園

高尾神社

高尾神社

吉野

管理事務所

中央卸売市場

青果卸売棟

水産卸売棟

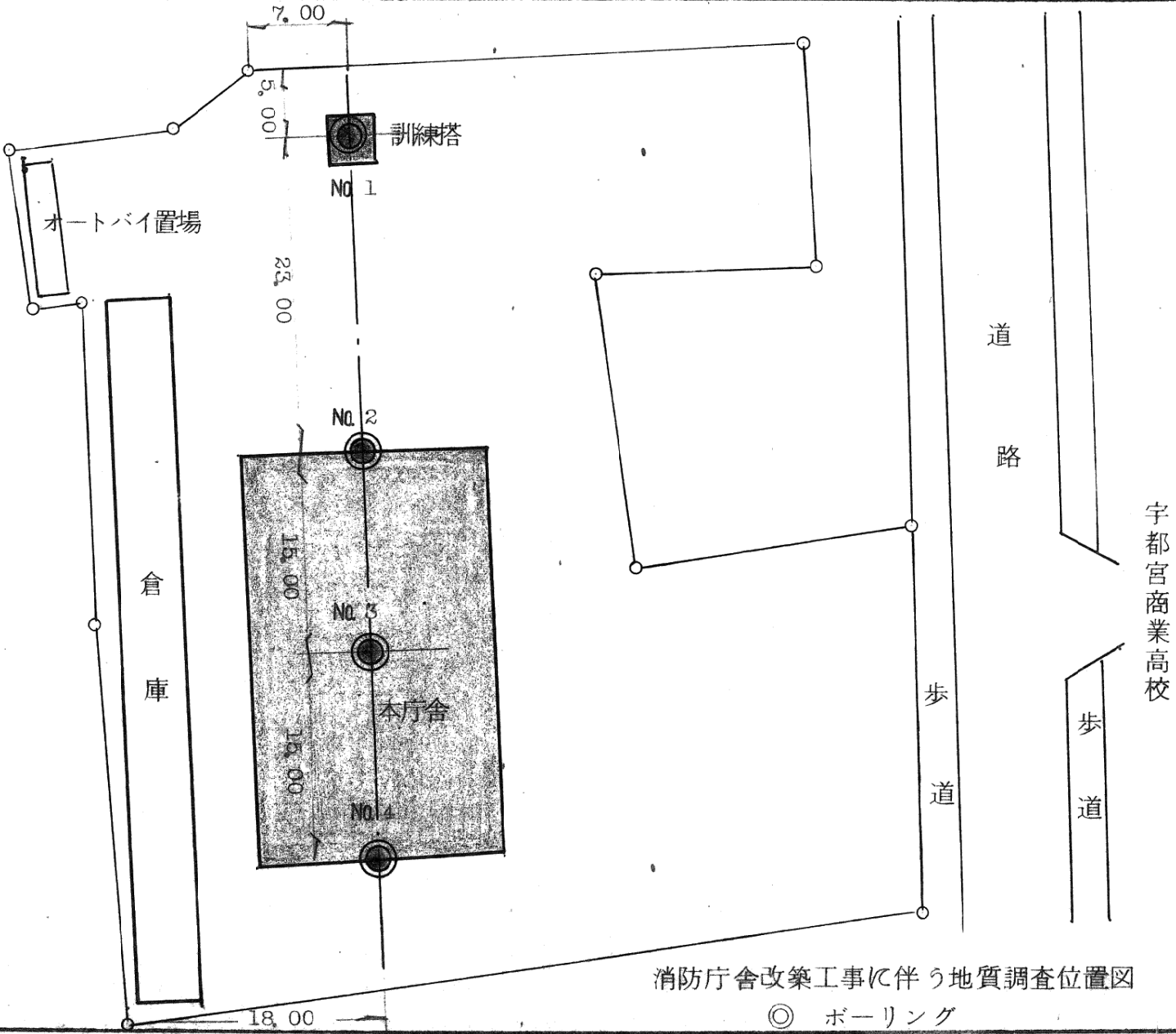
パナチン酸製煉棟

青果倉庫

水産倉庫

冷蔵倉庫

宇都宮総合卸売センター



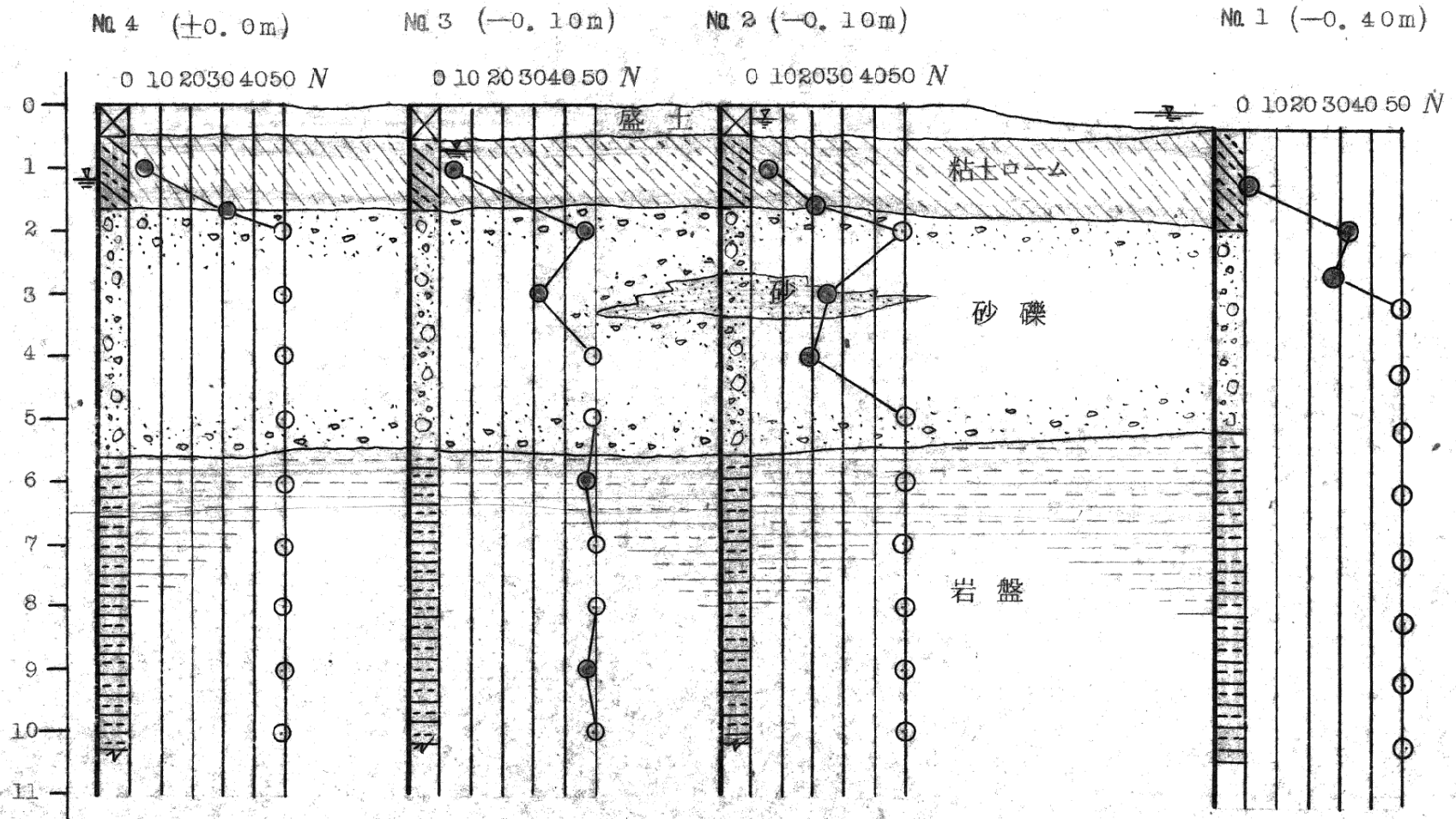
消防庁舎改築工事に伴う地質調査位置図

◎ ボーリング

須田地工機株式会社

No.

推定地質断面図



ボーリング柱状図

調査名 消防庁舎改築工事に伴う地質調査 孔番 No. No. 2 地盤高 -0.10 m
 調査場所 _____ (基準面 No. 4 ±0.0)
 地 形 _____ 摘要 _____
 調査期間 昭和50年 8月 5日 ~ 8月7日
 地下(孔内)水位 -0.20m 調査担当者 _____

標地下水位 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	上 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打 撃 回 数											
					色 調	相 対 密 度		番 号	記 号		採取深度 (m)	試験深度 (m)	0	10	20	30	40	50	60	70		
0	0.50	0.50		盛土																		
1	1.65	1.15	X	表土	暗褐					11.5/13	1.15 1.25	6										
2	2.70	1.05	○	砂礫	青灰	中位	100%内外の礫 介在			14.5.10	1.65 1.95	21										
3	3.40	0.70	○	粗砂	"	密な互層	3%~10%位小礫 混る。			14.17.19/7	2.25 2.42	59										
4	5.60	2.20	○	砂礫	青灰色	密な互層	φ=10%~50% 位多く混る。 80%~100%内外 も混る, 含水多			2.7.17	3.15 3.25	26										
5										10.6.4	4.15 4.45	20										
6										19.27.13	5.15 5.45	59										
7										18.21.11/4	6.15 6.37	59 52										
8										23.20/4	7.15 7.37	59 52										
9										40.10/3	8.15 8.38	59 13										
10	10.24			岩盤	暗緑灰色	特別に堅い	軟質凝灰岩 コア採取率 60%位。 固結度の低い 所の夾層あり。			16.25/4	9.15 9.39	59 54										
										10.15 10.24	59 19											

ボーリング柱状図

調査名 消防庁舎改築工事に伴う地質調査 孔番 No. No.1 地盤高 -0.40 m
 調査場所 _____ (基準面 No.4 ±0.0)
 地 形 _____ 摘 要 _____
 調査期間 昭和50年 8月8日 ~ 8月11日
 地下(孔内)水位 +0.30m 調査担当者 _____

標地下水 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土 質 記 号	土 質	上 性		備 考	(註) 試 料			標準貫入試験									
					色 調	相 対 密 度		番 号	記 号	採取深度 (m)	原 位 試 験 深 度 (m)	打 撃 回 数								
												0	10	20	30	40	50	60	70	
0			X	表 土	暗 褐		腐植物多量混 る。粘土質ロ ム。				1.15 1.25 1.70 1.90	1								
1.70	1.70		○	砂 礫	青 灰 色	中 位 非 常 に 密	所々礫φ=100 %内外混る。 φ=20%~50% 位多く混る。				6.12.15 9.9.10 35.15/5 61.9/5	33 28 50 15								
4.85	3.15		○			暗 緑 灰 色	特 別 に 堅 い	軟質凝灰岩 所々軟い挟在 あり。 コア採取率 60%位。				16.18.14 18.19.14 19.21/7 21.29/6 32.12/5 19.21/8	50 50 50 50 50 50							
10	10.33		/	岩 盤							5.15 6.27 7.15 8.27 9.15 10.33	50 50 50 50 50 50								

ボーリング柱状図

調査名 消防庁舎改築工事に伴う地質調査 孔番 No. No.3 地盤高 -0.10 m
 調査場所 _____ (基準面 No.4 ±0.0)
 地 形 _____ 摘 要 _____
 調査期間 昭和50年8月2日 ~ 8月4日
 地下(孔内)水位 -0.65m 調査担当者 _____

標地下水位 高(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	上 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 度 試験 深 度 (m)	標準貫入試験								
					色 調	相 対 密 度		番 号	記 号		採 取 深 度 (m)	打 撃 回 数							
											0	10	20	30	40	50	60	70	
0	0.50	0.50		盛 土															
1	1.65	1.15	X	表 土	暗黒 暗褐		粘土ローム質 下部砂質			1.12	1.15 1.25	1							
2			○				礫径φ=10% ~50%位の混 入多い。			13.15.20	2.15 2.25	28							
3			○		青 灰 色		所々礫φ=80 %~100%位の ものも混る。 含水多い。			9.11.11	3.15 3.25	31							
4			○							18.37	4.15 4.35	59 20							
5	5.45	3.80	○	砂 礫						11.11.28	5.15 5.41	50 26							
6			—							13.15.20	6.15 6.45	28							
7			—							15.25.10	7.15 7.37	50 50							
8			—							18.32/2	8.15 8.33	50 18							
9			—							12.16.20	9.15 9.45	28							
10	10.21		—	岩 盤			暗・青 緑 灰 色	コア採取率 70%位。 軟質凝灰岩で 固結度の高い 所と低い所あ り。		21.09/6	10.15 10.21	50 16							

ボーリング柱状図

調査名 消防庁舎改築工事に伴う地質調査 孔番 No. No. 4 地盤高 ±0.0 m
 調査場所 _____ (基準面)
 地 形 _____ 摘要 _____
 調査期間 昭和50年7月30日 ~ 8月1日
 地下(孔内)水位 -1.20m 調査担当者 _____

標地下水 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置		標 準 貫 入 試 験												
					色 調	相 対 密 度		番 号	記 号	採 取 深 度 (m)	試 験 深 度 (m)	打 撃 回 数												
												0	10	20	30	40	50	60	70					
0	0.50	0.50		盛土																				
1.70	1.20		X	表土	暗黒 茶褐		下部ローム																	
2			○	砂 礫	青 灰 色	非 常 に 密 な	礫径φ=10% ~60%位のもの 混入多い。 所々φ=80% ~100%位の硬 質礫存在。																	
3											10.20/18	3.15 3.25	56											
4												32.18/5	2.15 2.28	59 113										
5	5.65	3.25										36.14/6	5.15 5.27	59 120										
6				岩 盤	暗 緑 灰 色	特 別 に 堅 い	コア一採取率 60%位。 軟質凝灰岩																	
7												10.20/20	6.15 6.40	59 125										
8												18.34/11	2.15 2.36	59 61										
9												15.35/6	2.15 2.29	59 110										
10	10.33											16.34/6	2.15 2.31	59 116										
								20.30/5	14.15 10.33	60 118														